

# おすすめの新着図書

湘南学園中高図書室

## 「あの日の僕らにさよなら」

平山瑞穂[著]  
新潮社 913-ヒ

主人公と男の子は17歳、互いに気になりつつも、一步を踏み出せないでいた。そんなある日、主人公は男の子の部屋で日記を見てしまい、綴られた愛情の重たさに逃げ出してしまった。それから11年、再会を果たした二人はどんな答えを出すのか？

## 「化学探偵Mr. キュリー」

喜多喜久[著]  
中央公論新社 913-キ

大学随一の秀才にして化学オタクの准教授、通称Mr. キュリー。大学で起こる化学がらみの不可思議な事件を新人事務員と一緒に解決していきます。化学の知識も身について、読むだけで為になります。

## 「クラゲ」

世にも美しい浮遊生活」  
村上龍男[著]  
PHP研究所 483-ム

山形県にある小さな水族館は、長年集客難に悩んでいた。ある日、偶然現れたクラゲの赤ちゃんに喜ぶ来場者を見て、クラゲ展を開催することに。クラゲ展示種数世界一とギネスにも載った色々なクラゲの魅力を写真付きで紹介。

## 「犬の伊勢参り」

仁科邦男[著]  
平凡社 175-ニ

明治八年、犬が突如単独で伊勢参りを始めた。以来、約100年にわたって伊勢参りをする犬の目撃談が数多く残されている。犬はなぜ伊勢参りを始めたのか？目的とは？これは物語ではなく実話です。

## 「アナと雪の女王」

サラ・ネイサン、シーラ・ローマン[著]  
竹書房 933-ネ

雪と氷を操る力を持つエルサは、新女王として戴冠式に臨むが、そこで力を暴走させてしまう。エルサは城から逃亡し自分の能力で冬の王国を作り閉じこもってしまった。妹アナは、エルサを救うべく旅に出る。アナはエルサを救うことができるか？

## 「百舌の叫ぶ夜」

逢坂剛[著]  
集英社 913-オ

東京新宿で過激派集団による爆弾テロが発生した。爆弾を所持していた男と、たまたま現場にいた警部の妻が犠牲となってしまった。警部は、私情を挟みかねないと捜査の一員に加えてもらえず、単独で事件の真相を突き止める決意をする。

## 「L change the WorLd」

M[著] 集英社 913-エ

「このノートに名前を書かれた人間は死ぬ」  
人気コミック『DEATHE NOTE』で話題になった名探偵L。キラによる事件を解決した後、Lの前に難事件が立ちはだかる。残された時間は23日間。Lは時間内に事件を解決できるのか？

## 「失恋ショコラティエ」

白戸ふみか[著]  
小学館 913-シー1

主人公は彼女に振られ、ショコラティエ修業のため単身パリに旅立つ。チョコ好きの彼女に美味しいチョコを作ってあげれば、自分を好きになってくれるのではと期待を込めて。しかし、期待を胸に再会するも、彼女にはすでに婚約者がいた…。

## 「黄昏の岸 暁の天」

小野不由美[著]  
講談社 913-オ

十二国記シリーズ。舞台は古代中国思想を基盤にした異世界で、十二の国からなる。その一つである戴国は、再興に向け動き出していたが、反乱鎮圧のために赴いた王が行方不明になり、戴国の麒麟までもが姿を消してしまった。戴国は一体どうなる？

### 「虚ろな十字架」

東野圭吾[著]  
光文社 913-七

主人公は、8歳の娘を強盗に殺された被害者遺族。犯人は捕まり裁判にかけられたが、このことを機に妻と離婚。事件から数年後、今度は元妻が路上で殺害された。死刑の意味について考えさせられます。

### 「隠蔽捜査」

今野敏[著]  
新潮社 913-コ

主人公は警察庁の官僚。ある時、暴力団員が殺害されたが、他の警察官僚は暴力団の抗争が原因だからと我関せず。しかし、次々と起こる殺人事件や捜査方法の過程に、主人公は警察官が殺人に関わっているのではないかとという疑念を抱く。

### 「去年の冬 きみとの別れ」

中村文則[著]  
幻冬舎 913-ナ

主人公はある編集者の依頼で、女性を焼死させ、その姿を写真に撮るといふ猟奇的な殺人事件取材していた。その殺人犯との接見や事件の資料から、思いがけない人間が関わっていることを知る。実は主人公に依頼した編集者もその一人だった。

### 「偉大なるしゅららぼん」

万城目学[著]  
集英社 913-マ

琵琶湖から超能力を授かると称する一族がいた。その分家である主人公は、超能力を学ぶため本家に住むことに。本家の長男と上下関係を結び一緒に高校入学をする。ちなみに「しゅららぼん」とは、超能力を使ったときに発する「音」のこと。

### 「女子の人間関係」

水島広子[著]  
サンクチュアリ出版 143-ミ

女性なら誰しも、クラスのグループや陰口など、女性同士特有の人間関係に対して面倒くさく感じたことがあるのではないのでしょうか？そんな人間関係に巻き込まれずに、自分の身を守りつつ、良い関係を築く方法を伝授します。

### 「外食の裏側を見抜く プロの全スキル、教えます。」

川岸宏和[著]  
東洋経済新報社 673-カ

世間を騒がせた食品偽装問題や産地偽装など、食に対する信頼が揺らいでいます。食のプロや業界関係者の間で「食品業界を知り尽くした」と言われる筆者が、食品業界の裏側について分かりやすく解説してくれます。

### 「タモリ論」

樋口毅宏[著]  
新潮社 779-ヒ

「笑っていいとも！」の司会者として有名なタモリさん。三十年以上も毎日生放送の司会者が続けられている超人です。どうして長期に渡って続けられるのか？サングラスの奥に隠された孤独や絶望とは？タモリさんの本当の姿を紹介します。

### 「間抜けの構造」

ビートたけし[著]  
新潮社 779-ヒ

「見渡せば世の中、間が悪い人ばかり。『間』というのは正体が見えにくい、コントロールをするのも難しいやっかいなもの。けれどそれを制したものが成功できるんだよ。」「『間』と格闘してきたビートたけしが語る『間』の話。

### 「長友佑都 体幹トレーニング20」

長友佑都 [著]  
KKベストセラーズ 780-ナ

「体幹」とは、頭部と左右の手足を除いた胴体部分を指す用語です。サッカー選手、長友佑都はこの「体幹」を鍛えることで世界を相手にしても負けない競争力や肉体を手に入れました。そんな「体幹」を鍛えるトレーニング方法を図入りで紹介します。